令和５年度（令和５年 10 月入学）
令和６年度
（第１次募集・第２次募集）

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻
博士前期課程・博士後期課程

学 生 募 集 要 項

岩手県立大学
Iwate Prefectural University

【目　　次】

○ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）　…… 1

○ 博士前期課程…… 3
Ⅰ　募集人員及び入学時期
Ⅱ　出願資格
Ⅲ　出願前の事前相談
Ⅳ　出願資格審査
Ⅴ　出願手続等
Ⅵ　選抜方法
Ⅶ　選抜日時・試験場等
Ⅷ　教育研究領域

○ 博士後期課程…… 21
Ⅰ　募集人員及び入学時期
Ⅱ　出願資格
Ⅲ　出願前の事前相談
Ⅳ　出願資格審査
Ⅴ　出願手続等
Ⅵ　選抜方法
Ⅶ　選抜日時・試験場等
Ⅷ　教育研究領域

○ 博士前期課程・博士後期課程共通事項…… 35
Ⅰ　合格発表
Ⅱ　入学手続等
Ⅲ　個人成績提供の請求について
Ⅳ　個人情報の取扱い
Ⅴ　試験場案内

ソフトウェア情報学研究科

＜博士前期課程＞

アドミッション・ポリシー【求める学生像】

ソフトウェア情報学研究科博士前期課程では、本研究科博士前期課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、情報技術に関心や興味、情熱を持っており、かつ，次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

1. 情報技術が人間や社会に及ぼす様々な影響・効果を理解できる人
2. 知的探求心と想像力を持ち、情報技術に関する知識・スキルを学び、それらを活用できる人
3. 自らの能力・適性を把握し、自主的・計画的に学習・研究に取り組むことができる人
4. 自らの見解をわかりやすく伝達し、他者の意見を踏まえて議論できる人

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ソフトウェア情報学研究科では、本学の建学の理念、教育の特色、教育研究上の目的を踏まえ、自身の専門性を活かし、真に利用者の立場から情報技術・システムを企画・設計・開発・保守・運用できる責任感と倫理観に裏付けられた高い学識を持つ人材、そして国際的な視野で通用する独創性と急激な社会の変化にしなやかに対応できる柔軟性を備えた人材の育成を図り、本学学則に定める修了要件を満たした学生を、次に掲げる「学生が修了までに身につけるべき能力」を備えたものとして、博士前期課程においては学位『修士（ソフトウェア情報学）』を授与します。

DP1 : 自身の適性や能力を的確に把握し、情報技術分野に対する情熱を持って、意欲的かつ計画的に学習・研究を継続して取り組むことができる。

DP2 : 人間や社会に及ぼす様々な影響や効果を判断し、技術者または研究者としての責任を感じることができる。

DP3 : 情報技術・システムにおける問題・課題に対して、利用者の立場から、適切な解決方法を導き出し、問題・課題を解決することができる。

DP4 : 国際的な視野に立って、技術者・研究者の立場から、情報技術・システムの幅広い知識とスキル、そして自身の専門分野における学識を修得し、様々な問題・課題に適した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。

DP5 : 技術者・研究者の立場から、自身の見解をわかりやすく表現できるとともに、他者の意見を受け入れ、論理的な議論を交わすことができる。

＜博士後期課程＞

アドミッション・ポリシー【求める学生像】

ソフトウェア情報学研究科博士後期課程では、本研究科博士後期課程のディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）およびカリキュラム・ポリシー（教育課程編成の方針）に定める教育を受けるに当たって、情報技術に強い関心や興味、情熱を有しており、かつ、次に示すような知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めています。

1. 情報技術が人間や社会に及ぼす様々な影響・効果を理解でき、技術者または研究者としての責任を理解することができる人
2. 知的探求心と想像力を持ち、国際的な視野に立ち、情報技術に関する幅広い知識・スキルを修得・活用できる人
3. 自身の能力・適性を把握し、ビジョンをもって自律的に学習・研究に取り組むことができる人
4. 自身の見解を明確に表現できるとともに、他者の意見を受け入れ、論理的に議論できる人

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

ソフトウェア情報学研究科では、本学の建学の理念、教育の特色、教育研究上の目的を踏まえ、自身の専門性を活かし、真に利用者の立場から情報技術・システムを企画・設計・開発・保守・運用できる責任感と倫理観に裏付けられた高い志学識を持つ人材、そして国際的な視野で通用する独創性と急激な社会の変化にしなやかに対応できる柔軟性を備えた人材の育成を図り、本学学則に定める修了要件を満たした学生を、次に掲げる「学生が修了までに身につけるべき能力」を備えたものとして、博士後期課程においては学位『博士（ソフトウェア情報学)』を授与します。

DP1 : 自身の適性や能力を的確に把握し、情報技術分野に対する情熱を持って、意欲的かつ計画的に学習・研究を継続して取り組むことができる。

DP2 : 人間や社会に及ぼす様々な影響や効果を判断し、技術者または研究者としての責任を感じることができる。

DP3 : 情報技術・システムにおける問題・課題に対して、利用者の立場から適切な解決方法を導き出し、問題・課題を解決することができる。

DP4 : 国際的な視野に立って、情報技術・システムの幅広い知識とスキル、そして自身の専門分野における学識を修得し、様々な問題・課題に適した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。

DP5 : 技術者・研究者の立場から、自身の見解をわかりやすく表現できるとともに、他者の意見を受け入れ、論理的な議論を交わすことができる。

DP6 : 既存の情報技術・システムに対して、本質的な問題・課題を提起するとともに、国際的にも価値のある新しい情報技術・システムを創造することができる。

DP7 : 現代社会における情報技術分野の課題や目指すべき目標を正しく理解するとともに、人と情報技術が調和した社会の実現に貢献できる。

博士前期課程

Ⅰ　募集人員及び入学時期

ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士前期課程

募集区分	募集人員	入学時期
令和５年 10 月入学	若干名	令和５年 10 月
第１次募集	40 名 （一般・推薦・特別推薦・社会人・外国人留学生）	令和６年４月又は令和６年 10 月 （志願者が出願時に選択）
第２次募集	第１次募集の結果により 11 月中旬に本学ホームページにおいて発表します。	令和６年４月又は令和６年 10 月 （志願者が出願時に選択）

Ⅱ　出願資格

１　一　般

次の(1)～(10)のいずれかに該当し、かつ（11）に該当する者

(1)　学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに卒業見込みの者

(2)　学校教育法第104条第７項の規定により学士の学位を授与された者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに学士の学位を授与される見込みの者

(3)　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

(4)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

(5)　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

(6)　外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が３年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに授与される見込みの者

(7)　専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場

合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

(8)　文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

(9)　次のいずれかに該当する者であって、本学大学院において審査の結果、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者

①　大学に３年以上在学した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに在学期間が３年以上となる者

②　外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

③　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

④　我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに修了見込みの者

(10)　本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和６年４月１日（令和５年10月入学の場合は令和５年10月１日、令和６年10月入学の場合は令和６年10月１日）現在で22歳に達している者

(11)　日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、1つ以上該当する者

①　公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

②　本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.7（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③　英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

２　推　薦

次の(1)あるいは(2)のいずれかに該当し、かつ(3)に該当する者

(1)　令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに学校教育法第83条に定める大学を卒業見込みで、学業成績、人物ともに優れていて、学部長から推薦を得られた者、かつ、入学を確約できる者

(2)　令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに学校教育法第104条第７項に定める高等専門学校専攻科等により、学士の学位を授与される見込みで、学業成績、人物ともに優れていて、学校長から推薦を得られた者、かつ、入学を確約できる者

(3)　日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、１つ以上該当する者

①　公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.7（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

３ 特別推薦

次の(1)あるいは(2)のいずれかに該当し、かつ(3)に該当する者

(1) 令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに岩手県立大学ソフトウェア情報学部を卒業見込みで、学業成績が極めて優れていて、学部長からの推薦が得られた者、かつ、入学を確約できる者

(2) 令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに、岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科と推薦入学に関する協定を締結している大学（注１）を卒業見込みで、学業成績が極めて優れていて、学部長からの推薦が得られた者、かつ、入学を確約できる者

注１ 令和５年４月現在の対象大学は、大連交通大学軟件学院（中華人民共和国）

(3) 日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、１つ以上該当する者

① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN1以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格し、日本の大学での半年以上の留学経験を有する者

③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

４ 社会人

次のすべてを満たす者

(1) 志願区分「一般」の出願資格に該当し、令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに、企業、官公庁、教育機関又は研究機関等に２年以上の在職経験（志願区分「一般」の出願資格(1)から(10)まで（(9)の①を除く）のいずれかに該当した後のものに限る）を有し、かつ、令和６年４月１日（令和５年10月入学の場合は、令和５年10月１日、令和６年10月入学の場合は、令和６年10月１日）現在で24歳に達している者

(2) 日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、１つ以上該当する者

① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.7（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

５ 外国人留学生

日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）で、志願区分「一般」の出願資格の（1）から（9）まで（(9) の①を除く）のいずれかに該当し、かつ、次の各項について、１つ以上該当する者

① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.7（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】

資格名称	基準	認定団体
TOEFL	（iBT） 50点以上	TOEFL®テスト日本事務局ETS Japan合同会社
TOEIC	480点以上	一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

※出願期間最終日の前日から起算して**２年前の日以降**に受験していること。

※その他の資格については、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

６ 出願資格審査対象者

志願区分「一般」の出願資格⑼又は⑽に該当することにより出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。以下同じ。）は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳しくは、『Ⅳ 出願資格審査』を参照ください。

志願区分「一般」の出願資格⑼（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）の出願資格審査基準は、以下のとおりです。ただし、外国において大学教育修了までの学校教育の課程が15年である場合は、この限りではありません。

１ 大学在学期間が、令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに３年間に達すること。なお、休学となった期間は在学期間に含みません。

２ 次の２つの条件のうち、いずれかに該当すること。

⑴ 令和５年 10 月入学では令和５年３月末日（３年次）、１次募集では令和５年３月末日（２年次）、２次募集では令和５年９月末日（３年次前期）までに、本学のソフトウェア情報学部で開講されている必修である専門科目に相当する科目を履修済みで、成績評価の欠損値の合計が２以内であること。ただし、欠損値は、「秀」また「優」評価を０、「良」評価を１、「可」評価を２として算出する。

⑵ 令和５年10月入学では令和５年３月末日（３年次）、１次募集では令和５年３月末日（２年次）、２次募集では令和５年９月末日（３年次前期）までに、本学のソフトウェア情報学部で開講されている必修である専門科目に相当する科目を履修済みで、成績が優秀であり、かつ卒業論文に相当する研究業績があること。

（注）⑴ 入学試験合格後に、１の大学在学期間を満たさない場合は、入学の許可を取り消します。

⑵ 本出願資格により入学する場合は、学部学生の身分を有することはできず、学部を退学して大学院に入学することになります。従って、大学の学部卒業を要件としている各種の資格試験は、受験できなくなります。

Ⅲ　出願前の事前相談

出願予定者は、入学後の研究計画等について指導を受けようとする教員と事前相談を必ず行い、その内容を研究計画書（Ｂ票）に記入するとともに、事前相談の内容に関し、指導希望教員の捺印をもらってください。あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録（FAX の写し、電子メールのハードコピー等）を添付してください。

問い合わせ先

岩手県立大学　教育支援室入試グループ 〒020-0693　岩手県滝沢市巣子 152-52　　TEL 019-694-2014(直通)

Ⅳ　出願資格審査

志願区分「一般」の出願資格(9)又は(10)に該当することにより出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）は、事前に資格審査を行うので、次の書類を郵送（**書留速達**）により、提出してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士前期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

１　提出書類

志願区分「一般」の出願資格(9)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」、「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）	志願区分「一般」の出願資格(10)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」の志願区分で出願しようとする者を含む）
①　出願資格審査申請書（本学所定） ②　Ａ票　履歴書（本学所定） ③　成績証明書（出身学校所定） ④　Ｂ票　研究計画書（本学所定） ⑤　Ｄ票　実績一覧（本学所定） ⑥　Ｆ票　業績レポートＢ（本学所定） （志願区分「社会人」で出願する者に限る） ⑦　修了（見込）証明書（出身学校所定） ⑧　在学（期間）証明書（出身学校所定） ⑨　卒業論文に相当する研究業績 （前記出願資格審査基準の２の(2)に該当する者） ⑩　日本語能力試験レベル N2 以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑪　本人のあて先記入の角形２号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと）	①　出願資格審査申請書（本学所定） ②　Ａ票　履歴書（本学所定） ③　成績証明書（出身学校所定） ④　Ｂ票　研究計画書（本学所定） ⑤　Ｄ票　実績一覧（本学所定） ⑥　Ｅ票　業績レポートＡ（本学所定） （志願区分「一般」で出願する者に限る） ⑦　Ｆ票　業績レポートＢ（本学所定） （志願区分「社会人」で出願する者に限る） ⑧　卒業（修了）証明書　（出身学校所定） ⑨　日本語能力試験レベル N2 以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑩　本人のあて先記入の角形２号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと）

※国外への資格審査書類の返送については、「Ⅲ　出願前の事前相談」の照会先へお問い合わせください。

２　提出期間

(1) 提出期間

令和５年10月入学・第１次募集：

令和５年５月25日(木)から令和５年５月29日(月)まで【午後４時必着】

第２次募集：

令和５年12月６日(水)から令和５年12月８日(金)まで【午後４時必着】

（上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください）

ただし、上記出願期間最終日の午後４時を過ぎて到着したものでも、国内郵便に限り、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年５月27日(土)まで、第２次募集の場合は令和５年12月６日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願資格認定結果の通知

出願資格認定結果は、提出書類とともに下記期日に郵送で本人あてに通知します。

令和５年10月入学・第１次募集：令和５年６月２日(金)

第２次募集：令和５年12月18日(月)

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

提出先	岩手県立大学　教育支援室入試グループ 〒020-0693　岩手県滝沢市巣子152-52　TEL 019-694-2014（直通）

Ⅴ　出願手続等

１　インターネット出願について

岩手県立大学への出願方法は、インターネット出願です。**出願完了までの流れ、出願登録及び入学検定料の支払いについては、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」を参照してください。**なお、必要書類等の詳細については 12, 13 ページで確認のうえ、不備のないように出願してください。

①　出願書類を準備	インターネット出願の前に準備してください。

②　インターネット出願登録期間 （入学検定料の支払期限） 【入学検定料】　30,000 円	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年６月５日（月）～６月22日（木） **第２次募集**： 令和６年１月４日（木）～１月19日（金） ※　検定料は上記期間内にお支払いください。なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （ア）検定料を支払ったが出願しなかった場合 （イ）検定料を支払ったが出願が受理されなかった場合 （ウ）検定料を二重に支払った場合 上記（ア）～（ウ）のいずれかに該当する場合は、必ず教育支援室入試グループ（電話 019-694-2014）まで連絡してください。なお、返還の際には、領収書（証）等が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。

③　出願期間 （出願書類提出期限）	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年６月19日（月）～６月22日（木）【午後４時必着】 **第２次募集**： 令和６年１月17日（水）～１月19日（金）【午後４時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しません。 ただし、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月20日（火）まで、第２次募集においては令和６年１月17日（水）までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

④　試験日	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年７月８日（土） **第２次募集**： 令和６年２月18日（日）

⑤　合格発表	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年７月18日（火）　午後１時（予定） **第２次募集**： 令和６年２月27日（火）　午後１時（予定）

⑥　入学手続期間	**令和５年10月入学**： 令和５年７月25日(火)～令和５年７月28日(金) **第１次募集（令和６年４月入学）**： 令和５年10月２日(月)～令和５年10月10日(火) **第１次募集（令和６年10月入学）**： 令和６年２月19日(月)～令和６年２月28日(水) **第２次募集**： 令和６年２月29日(木)～令和６年３月６日(水)

２　出願期間

令和５年10月入学・第１次募集：

令和５年６月19日(月)から令和５年６月22日(木) まで【午後４時必着】

第２次募集：

令和６年１月17日(水)から令和６年１月19日(金) まで【午後４時必着】

（上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください）

ただし、上記出願期間最終日の午後４時を過ぎて到着したものでも、国内郵便に限り、**令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月20日(火)まで、第２次募集の場合は令和６年１月17日(水)までの消印があり、**かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

３　出願方法

インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にダウンロードできる書類を印刷し、その他必要書類と併せて提出してください。

４　出願に係る事前準備

インターネット出願を行う前に必ず確認してください。

書　　類	作　成　方　法
出願環境の準備	１　端末の準備 インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 ＜パソコン利用時推奨ブラウザ＞ ・ Microsoft Edge　最新版 ・ Google Chrome　最新版 ・ Mozilla Firefox　最新版 ・ Apple Safari　最新版 ＜スマートフォン、タブレット利用時推奨ＯＳ＞ ・ iOS 12　以降 ・ Android 8　以降 ・ iPadOS 13 以降 ※　各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※　お使いのブラウザで表示が崩れることがありましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※　印刷機能を必要とします。 ２　メールアドレスの準備 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメイン【@e-apply.jp】、【@ml.iwate-pu.ac.jp】からのメールを受信できるように設定を追加してください。 出願時に登録したメールアドレスに、以下の４回、メールが送信されます。 ①　インターネット出願入力中のテストメール ②　出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③　入学検定料支払完了時の自動送信メール ④　受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※　試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真の用意	インターネット出願にあたって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、２MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、カラー写真データ（正面上半身無帽、背景無し、出願前３か月以内に撮影したもの）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。
その他必要書類の準備	出願区分に応じて必要な書類を、出願期間に間に合うように準備してください。 ※　必要な書類は「７　出願書類」で確認してください。

出願書類送付用封筒	必要書類提出のために、市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。
様式印刷の用意	インターネット出願サイトから出力する様式類は、Ａ４判でカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

５　出願登録

出願登録は、インターネット出願画面から行ってください。

詳細は、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」を参照してください。

６　入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」のSTEP 5「入学検定料の支払い」を参照して支払ってください。

７　出願書類

出　願　書　類	一般	推薦	特別推薦	社会人	外国人留学生	摘　　要
志願票	○	○	○	○	○	・ インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料（30,000円）の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。 ・ 必要事項をもれなく入力してください。
写真票	○	○	○	○	○	・ インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。 ・ 鮮明に印刷するため、スーパーファイン用紙、マット紙等の使用を推奨します。
A票　履歴書	○	○	○	○	○	必要事項を漏れなく記入してください。
成績証明書	○	○	○	○	○	・ 出願資格に該当する出身大学の学長（学部長）又は出身学校長が作成し、厳封したもの（外国語で作成されたものは除く）を提出してください。 なお、志願区分「一般」出願資格(2)および志願区分「推薦」出願資格(2)で出願する者は、高等専門学校本科等の成績証明書も提出してください。 また、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください。
B票　研究計画書	○	○	○	○	○	・ 必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 事前相談内容を記入のうえ、指導希望教員の捺印をもらうか、あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録（FAXの写し、電子メールのハードコピー等）を添付してください。
D票 実績一覧	○	○	○	○	○	・必要事項を漏れなく記入してください。記載する実績がない場合でも提出してください。 ・記載する実績の個数は、表に記載できる範囲内とします。 ・資格・検定の場合は合格証書の写しなど、学会発表などの場合は原稿の写し、自作ソフトウェアの場合はソフトウェアの機能など特徴の分かるもの（様式自由）、受賞などの場合は表彰状の写しなど内容を証明できるものを提出してください。
E票 業績レポートA	△					・ 必要事項を漏れなく記入してください。 ・ 志願区分「一般」出願資格(10)で出願する者が提出してください。
F票 業績レポートB				○		・ 必要事項を漏れなく記入してください。
卒業（修了）証明書 又は 卒業（修了）見込証明書	○	○	○	○	○	・ 出身大学（出身学校）所定のものを提出してください。（入学年月日が記載されているもの）。 ・ 卒業（修了）見込証明書においては、3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

学士の学位授与(見込)証明書等	△			△	△	・ 志願区分「一般」出願資格⑵⑹(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む)で出願する者が提出してください。 ・ 学位授与機構が発行する学士の学位授与(見込)証明書若しくは、短期大学長又は、高等専門学校長の発行する学位授与申請(予定)証明書を提出してください。
教育職員免許状授与証明書	△			△	△	・ 志願区分「一般」出願資格⑻ (当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。)で出願する者で出願資格に該当する教育職員免許状を受けている者のみ提出してください。
G票 推薦書(社会人用)				○		・ 本学所定の様式により、現職場の所属長等が作成し、厳封したもの(外国語で作成されたものは除く)を提出してください。(任意提出)
H票 推薦書		○	○			・ 本学所定の様式により、大学の学部長または高等専門学校等の学校長が作成し、厳封したもの(外国語で作成されたものは除く)を提出してください。
住民票の写し 又は 住民票記載事項証明書	△	△	△	△	○	・ 外国籍を有するものは、市区町村長の発行する住民票の写し又は住民票記載事項証明書(在留資格の記載があるもの)を提出してください。なお、市区町村発行の住民票の写し又は住民票記載事項証明書が提出できない場合には、それに代わるもの(パスポートの氏名・生年月日が記載された箇所・査証等の写し)を提出してください。
「戸籍謄本」 又は 「市民証明書」			△			・ 志願区分「特別推薦」出願資格⑵で出願する者が提出してください。 ・ 国籍が中華人民共和国の者は、中華人民共和国の「戸籍謄本」または「市民証明書」を提出してください。
在学(期間)証明書	△		△	△	△	・ 志願区分「一般」出願資格⑼(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。)、または志願区分「特別推薦」出願資格⑵で出願する者が提出してください。 ・ 3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
・日本語能力試験レベルN2以上の認定結果及び成績に関する証明書 ・本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書 ・パスポートの写し	△	△	△	△	△	・ 日本国籍及び日本における永住資格を有しない者はいずれかを提出してください。(詳細は出願資格「5 外国人留学生」を参照のこと。) ・ 英語検定試験の成績に関する証明書を提出する場合はTOEFLのスコアレポート(Examinee Score Report)又は、TOEICのスコアレポート(Official Score Certificate)本紙を提出してください。なお、スコアレポートは後日返却するので、郵送用に344円の切手を同封してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	○	○	○	○	○	・ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付して郵送、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○	○	○	○	○	・ インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にA4判印刷用紙にカラー印刷してください。(志願票を印刷すると、同時に印刷されます。)「出願書類提出用宛名シート」は、角形2号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。

※ 作成にあたって、本学所定の様式の変更は認められません。
※ △については、該当する者が提出してください。
※ 外国語(英語以外)で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。翻訳は本人でもかまいませんが、翻訳者が署名のうえ、その連絡先(電話番号)を記入してください。厳封は不要です。

● 上記書類を、「出願書類提出用宛名シート」を張り付けた「出願書類提出用角形２号封筒」に入れ、提出してください。

８ 出願書類の提出方法

⑴ 郵送する場合

「書留速達による郵送」としてください。

⑵ 持参する場合

出願期間中の**午前９時から午前 11 時 45 分まで、及び午後１時から午後４時まで**

出願書類等提出先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ
〒020-0693 岩手県滝沢市巣子 152-52 TEL 019-694-2014（直通）

９　受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月29日（木）午後１時以降（予定）、第２次募集の場合は令和６年２月１日（木）午後１時以降（予定）に、インターネット出願サイトからダウンロードして印刷し、余白を切り取ったうえで、試験当日に持参してください。

○　インターネット出願では、入学検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからマイページログイン画面にアクセスして、「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。

○　インターネット出願の利用が難しい場合、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月19日（月）、第２次募集の場合は令和６年１月17日（水）までに、教育支援室入試グループ（TEL 019-694-2014）に相談してください。

10　出願上の注意事項

- **「インターネット出願」は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続き完了にはなりません。**入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着する必要があります。
- 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクで正しく明確に記入してください。
- 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、岩手県立大学教育支援室入試グループ（電話019-694-2014）まで連絡してください。
- 推薦での出願であっても、特に必要と判断された場合には、志願区分を一般に変更することがあります。
- 一度受理した出願書類は返還しません。
- 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- 出願資格を入学時までに満たせなかった者は、入学手続き後であっても入学の許可を取り消します。
- 本学に入学を志願する方で、障がい等による受験上及び修学上の特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、下記期日までに申し出てください。

令和５年10月入学・第１次募集：令和５年５月22日(月)まで
第２次募集：令和５年12月15日(金)まで

Ⅵ　選抜方法

１　一　般

入学者の選抜は、筆記試験、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。筆記試験は、英語、数学、専門科目からなります。このうち、数学、専門科目の出題分野とキーワードは次表のとおりです。

科　目	出題分野	キーワード
数学 （右の４分野の複合問題）	離散数学	論理、集合、組合せ、グラフ
	線形代数	ベクトル空間、線形写像、行列、行列式、固有値
	解析学	関数、極限、連続、微分、積分
	統計学	確率分布、推定、仮説検定、相関・回帰
専門科目	アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズム、データ構造、計算量、ソーティング、グラフ

２　推　薦

入学者の選抜は、筆記試験、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。
ただし、筆記試験は免除します。

３　特別推薦

入学者の選抜は、筆記試験、面接の結果及び出願書類を総合して判定します。
ただし、筆記試験及び面接は免除します。

４　社会人

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。
面接には、口頭試問（専門分野の基礎、英語能力）を含みます。

５　外国人留学生

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。
面接には、口頭試問（専門分野の基礎、英語能力）を含みます。面接は、原則として日本語で行いますが、必要に応じて英語で行う場合もあります。

Ⅶ　選抜日時・試験場等

１　選抜日時

令和５年 10 月入学・第１次募集（特別推薦を除く）:
　令和５年７月８日（土）

第２次募集：
　令和６年２月18日（日）

(1) 一般
　筆記試験(英語、数学、専門科目)120 分
　面　接
(2) 推薦・社会人・外国人留学生
　面　接
※　試験日程（日時・入室時刻・試験開始時刻等）の詳細については、別途通知します。

２　試験場

岩手県立大学
案内図（40 ページ）を参照してください。

３　受験上の注意事項

・　「受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
・　当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出てください。また、受験票は、個人成績提供の請求の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
・　受験者は、受付をし、入室時刻までに指定された教室に入室し、着席してください。
・　筆記試験は、試験開始後 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
・　面接の際は、指定された時刻までに受付を済ませ、待機してください。なお、指定された面接開始時刻に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
・　筆記試験（一般のみ）又は面接のいずれか１つでも受けなかった者は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とし、入学者選抜の対象から除きます。
・　筆記試験時間中に使用を許可するものは、辞書(英和１冊。ただし、電子辞書など電子的なものは除く)、鉛筆（シャープペンシル可)、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のみのもの）に限ります。常に机上で使用してください。
・　携帯電話、スマートフォンや音の出る機器の時報・アラーム音・発信音は試験室に入る前に必ず設定を解除し電源を切ってかばん等にしまってください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので十分注意してください。なお、試験時間中にかばんの中でこれらの機器の着信音や振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
・　試験場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
・　昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
・　試験場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えないので注意してください。
・　試験実施日の前日の午後に限り、岩手県立大学構内の下見はできますが、建物内への出入りはできません。
・　その他必要が生じた場合には、別途連絡します。

Ⅷ　教育研究領域（異動等により変わる場合もありますので，事前にご確認ください）

研究キーワード（◎主となるキーワード，○副となるキーワード）

データ・数理科学コース

教員	ウェブ情報学・サービス情報学	オペレーションズリサーチ	オペレーティングシステム	機械学習	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	経営工学	経営情報	人間情報工学	最適化	自然言語処理	社会資本リスクマネジメント	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	情報理論	数理情報	数理統計	シミュレーション工学	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	ソフトウェア工学	並列・分散処理	モバイルネットワーク	リスク分析
教授　猪股 俊光							○											◎				◎	◎			
教授　王 家宏														◎							○			◎	○	
教授　高田 豊雄																◎	◎	○								
教授　竹野 健夫		○						◎	○						○				○							
准教授　大堀 勝正													○						◎							◎
准教授　岡本 東		○						○			◎				○											
准教授　鈴木 郁美				◎								◎		○					○							
准教授　児玉英一郎	○																	◎			○			○		
准教授　田村 篤史					◎	○												○	○							
准教授　山邉 茂之										◎									○	○						
講師　Stephanie Nix				○																◎				○		
講師　山田 敬三											◎				○			◎				○	○			
助教　片町 健太郎			○														○	◎				◎				

コンピュータ工学コース

教員	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	オーバレイネットワーク	オペレーティングシステム	音声情報	画像情報処理	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	ネットワークプロトコル	ヒューマンコンピュータインタラクション	並列・分散処理	モバイルネットワーク
教授　蔡 大維		○										◎																○			
教授　佐藤 裕幸**					○		○					○		○												○				◎	
教授　橋本 浩二				○											◎													○		○	
教授　Bhed Bahadur Bista																					◎							◎			◎
教授　馬淵 浩司							○											○							◎						
准教授　新井 義和												◎														○					
准教授　今井 信太郎												○			○							◎						○			
准教授　齊藤 義仰	◎														◎														○		○
准教授　鈴木 彰真						○	○	○	○			○	○									○		○		○					
准教授　成田 匡輝				○																○	◎	○									
講師　伊藤 久祥										○	○					○	○												◎		
講師　佐藤 永欣			○	○											○				◎			◎					○	○			
講師　杉野 栄二**					◎							○											○							○	

**印の教員は，2025 年 3 月退職予定です。

人工知能コース

教 員	医療福祉情報	ウェブ情報学・サービス情報学	音声情報	画像情報処理	感性データベース	機械学習	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータビジョン	最適化	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	パターン認識	ヒューマンコンピュータインタラクション	認知脳科学	脳型情報処理
教授　伊藤 慶明			◎							○		○						○			
教授　亀田 昌志	○			◎					○		○			○							
教授　Prima Oky Dicky Ardiansyah				◎					○		◎			○			○		○		
教授　間所 洋和						◎	○		○					○				○			
准教授　樽松 理樹			○			○						◎			○			○			
准教授　小嶋 和徳				◎		○		○		○								○			
准教授　眞田 尚久				○										○						◎	◎
准教授　戴 瑩					◎	○	○		◎	○	○							◎			
准教授　David Ramamonjisoa		○		○								○						○			
准教授　羽倉 淳														○		◎			○		
准教授　松原 雅文						○						◎	○								

社会システムデザインコース

教 員	eラーニング	医療福祉情報	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	機械学習	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	経営工学	経営情報	コンピュータグラフィックス	自然言語処理	社会システム	情報システム	情報セキュリティ	情報デザイン	スキルサイエンス	センサーネットワーク	地域情報化	知識ベースシステム	地理情報システム	ヒューマンコンピュータインタラクション	リスク分析
教授　阿部 昭博						○									◎					◎		○		
教授　小方 孝*													○	○							◎			
教授　布川 博士*				○		○																		
教授　堀川 三好			○	○	◎					○	○			○					◎	○				
准教授　市川 尚	○							◎	○						○									
准教授　植竹 俊文										◎	○				◎					◎				
准教授　西崎 実穂																	◎						○	
准教授　松田 浩一		○						○				○						◎					◎	
講師　小倉 加奈代																○	○	○					◎	
講師　佐藤 究								○	○														◎	
講師　富澤 浩樹						○									◎					○				
講師　西岡 大																○							○	
講師　南野 謙一								○		○					◎							○		○

**印の教員は，2025 年 3 月退職予定です。

研究テーマ

データ・数理科学コース

教　員	研究テーマ
教　授・猪股 俊光	数理的手法によるプログラムの静的解析法，ソースコードの影響波及解析，初心者のためのプログラミング学習法
教　授・王 家宏	インフラに依存しないクラウドサービス構築技術，RAID 技術を用いたオンラインストレージシステム，災害地におけるアドホックネットワーク用ルーテイングアルゴリズム，プライバシーを保護した分散データマイニング
教　授・高田 豊雄	機械学習を応用したセキュリティ対策，ネットワークセキュリティ全般，個人認証方式，モバイル機器のセキュリティ，マルウェア対策，通信路符号化，HCI の知見を採り入れたセキュリティシステム・ツールのセキュリティ改善
教　授・竹野 健夫	数理計画問題，最適化，スケジューリング，確率モデル，在庫管理，意思決定支援に関するモデリングと解法の提案．また，それらを組み込んだ情報システムの構築．
准教授・大堀 勝正	数理統計，数理モデル，リスク分析，社会資本（道路，鉄道等）におけるリスクマネジメントおよび経営資源配分
准教授・岡本 東	組合せ最適化，生産・物流スケジューリング（ルーティング），生産工程における測位技術の応用，ソフトウェアの部品化再利用，地域の公共機関・団体のための情報システム
准教授・児玉 英一郎	Web リソースの効率的な発掘と利活用，Linked Data のメンテナンスや利活用，分散環境における情報セキュリティ，オノマトペの収集と分類及び利活用，情報処理における代数的整数論の利活用
准教授・鈴木 郁美	自然言語処理，機械学習を用いたデータ解析，自然言語生成モデルの構築・かな漢字変換・文法評価方法の確立．高次元データ解析，近傍法・単語分散表現・教師あり学習・半教師あり学習
准教授・田村 篤史	探究的な学習に対応した非ユークリッド幾何教材の開発。Julia を用いた大学幾何教材の開発．数学的能力・才能に関する基礎研究および数学才能教育に関する理論的研究．
准教授・山邉 茂之	人間機械共生支援システム
講　師・Stephanie Nix	生体を対象とした物理シミュレーション，農業現場を対象としたデジタルツイン，細胞の数値流体力学
講　師・山田 敬三	遺伝的アルゴリズムを用いた特性発見，遺伝的アルゴリズムを用いた組み合わせ最適化，マルチエージェントシステムを用いた推薦，項目反応理論の推薦への活用，階層分析法を用いた推薦
助　教・片町 健太郎	携帯端末を活用した出席確認システム及び安否確認システム，対称群の互換列についての数え上げ及び列挙

コンピュータ工学コース

教　員	研究テーマ
教　授・蔡 大維	イヤホン型ウェアラブルビジターガイド端末と総合管理システムの実用化，世界的に注目されているウェアラブル技術とワイヤレス充電技術を融合させ，自動観光案内のウェアラブル端末及び高度な総合充電管理装置の開発を行う．
教　授・佐藤 裕幸**	高性能プロセッサの組込み系での活用技術，無人搬送車の自律走行に向けた組込み系リアルタイム画像処理，大規模システムでの高性能プロセッサ活用技術（画像処理，データベース処理，センサ信号処理等）
教　授・橋本 浩二	遠隔操作可能なライブ中継用バックエンドシステム，映像通信のための動的構成可能なソフトウェアコンポーネント，多元中継を想定した分散型映像処理機能
教　授・Bhed Bahadur Bista	次世代情報ネットワークのネットワークプロトコル，モバイルネットワークなどとエネルギー効率的な情報ネットワーク
教　授・馬淵 浩司	ドローンを利用したスマート農業および消火・洗浄，宣言型計算モデルに基づく問題解決，宣言型計算モデルに基づく自然言語理解，既存楽曲の特徴を利用した自動楽曲生成
准教授・新井 義和	局所的通信デバイスの開発，複数ロボットの協調，ロボット間の衝突回避，ロボットの行動認識，ロボットナビゲーション，自動車運転支援システム，車々間／路車間通信デバイスの開発，センサネットワークの構築
准教授・今井 信太郎	柔軟なノード間連携により大量のデータ処理を実現するセンサシステム基盤技術，小規模農家支援のためのセンサシステム，大規模災害時の円滑な通信を実現する不揮発性ネットワーキング技術
准教授・齊藤 義仰	インタラクティブなインターネット放送システムと応用研究，人間的な側面からの安全運転支援，効果的なインターネット広告表示，地域課題への ICT 応用
准教授・鈴木 彰真	オノマトペを用いた食品の感性検索，地域特有料理及び提供店舗の検索システム，振動／圧力による車の接近告知システム，SS 超音波を用いた測位システムの研究，SS 超音波を用いたロボットモニタリングシステム
准教授・成田 匡輝	サイバー攻撃の監視，ダークネット監視システム，スマートフォンのセキュリティ，個人認証方式，SNS 利用者の個人情報保護，侵入検知システム，パスワード管理
講　師・伊藤 久祥	つながり感通信に適した映像の解像度の評価，学習者の視線による授業評価指標の開発，QR コードを利用した大規模授業における提出物の管理手法，音声認識を用いた簡易的な視野欠損検査手法の開発
講　師・佐藤 永欣	各種センサを利用したスポーツ指導支援，GNSS による走行軌跡を用いた地図自動更新，P2P 防犯カメラネットワーク，分散検索システム
講　師・杉野 栄二**	オペレーティングシステム，組込 OS，並列分散 OS，OS 記述のためのプログラミング言語

**印の教員は，2025 年 3 月退職予定です。

人工知能コース

教　員	研究テーマ
教　授・伊藤 慶明	ビデオ中で検索語が話されている区間を特定する技術の研究，音声認識技術の研究，運転中のドライバーとの雑談対話システムの研究
教　授・亀田 昌志	基底関数に基づいた画像の高能率符号化，医用画像を対象とした超解像処理，3D カメラ映像における物体認識，看護支援を目的とした病変の客観的評価
教　授・Prima Oky Dicky Ardiansyah	赤外線・可視光線による視線計測システム，行動（顔表情，発話，頷き，顔向け，瞬き）自動観察システム（behavior coding），生体情報センシングシステム，肢体不自由者のための意思伝達装置などの開発
教　授・間所 洋和	機械学習と視覚情報処理の研究，ヒューマンセンシングに関する研究，スマート農業に向けた農工連携研究，低炭素社会のための地域貢献型研究
准教授・槫松 理樹	テキストマイニングを用いた三つのポリシー（アドミッション・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシー）に関する研究，MT 法と機械学習を融合した故障予知・異常検出に関する研究，MT 法を用いた不均衡データ処理手法に関する研究，画像と声質変更を用いた音声再現手法に関する研究
准教授・小嶋 和徳	進化計算の大規模並列化に関する研究，進化計算を用いた画像中の物体検出に関する研究，野鳥の品種識別に関する研究，情景画像からの情報抽出に関する研究
准教授・眞田 尚久	視知覚の脳情報処理メカニズムの研究，生体情報計測による多感覚情報の統合メカニズムに関する研究，深層畳み込みニューラルネットワーク（DCNN）の中間層における情報表現，視覚運動情報による質感の脳内表現と画像処理への応用
准教授・戴 瑩	人間の感性を考慮する画像・映像などの検索や編集などに関する研究，big sensor data を用いた状況推定に関する研究，顔の検出と認識や表情から感情の認識などに関する研究
准教授・David Ramamonjisoa	金融情報から投資意思決定支援システムの研究，トピックモデルを用いてニュース記事のコメントや論文などの話題と傾向分析，機械学習によるデータ解析に関する研究
准教授・羽倉 淳	自律ロボットのための知覚メカニズム，交通事故防止のためのパーソナライズド・セーフティ・システム，多次元時系列データからの特徴抽出に関する研究，行動観察に基づく心理状態認識メカニズム
准教授・松原 雅文	携帯端末向け Web 検索，文字入力，予測入力，アイズフリー入力，画像情報を利用した日本語入力，押下圧を利用した日本語入力，ニューラルネットワークを利用した日本語入力，Twitter ユーザの推薦，楽曲推薦

社会システムデザインコース

教　員	研究テーマ
教　授・阿部 昭博	地域情報システム（観光，まちづくり，歴史文化，生活等）の実践的研究，情報システム分析・設計法（サービスデザイン，参加型アプローチ等），観光情報学，社会的課題への GIS 適用
教　授・小方 孝*	物語生成システム，自動生成コンテンツ，コンピュータゲーム応用，自然言語生成，概念・自然言語辞書，ウェブからの知識獲得，人文科学・認知科学・人工知能学際アプローチ，コンテンツとメディアの社会的流通調査とシステム構築
教　授・布川 博士*	社会に具体的に存在する課題を，その分野の中で見出し，現状を調査し，情報技術(IT)により問題を解決する方法を研究します．既存の IT で解決できなければ，そのための IT の開発も行います．IT を方法としても目的としても，つまりメディアとして研究開発します．
教　授・堀川 三好	Cyber Physical System，工場の可視化，屋内測位，Web パーソナライズ，地域の可視化，人間の動作・状態推定
准教授・市川 尚	インストラクショナルデザインに基づく教授／学習支援システム，看護教育における e ラーニング，観光情報システム
准教授・植竹 俊文	企業・社会に内在する情報資源（知識，技術，ノウハウ等）を見える化，情報資源を活用し業務を改善できるシステム提案，経営工学・情報工学などの手法・理論を用いて情報システム構築・評価
准教授・西崎 実穂	生態学的アプローチに基づく知覚と行為，デザイン（グラフィックデザイン，アクセシブルデザイン，データベース，AR アプリケーション）
准教授・松田 浩一	センサ技術を応用した郷土芸能伝承支援のための技能の分析・可視化，センサ技術を応用したリハビリ効果の分析・可視化，3 次元モデルのモデリングインタフェース
講　師・小倉 加奈代	次世代コミュニケーションメディアの開発，コミュニケーション支援システム，日常生活をより便利に快適にするための支援技術，人間の心理・行動特性に着目したフィッシング犯罪防止対策および認証システム，批判的思考力育成と情報セキュリティ教育
講　師・佐藤 究	分散協調作曲システムの分析と設計，特別支援教育のための書字学習支援システム，遠隔地デザイン作業支援システム，実物体指向仮想化学実験システム，感性的インタラクションを可能とする実世界指向デバイス，演習課題レポート管理システム
講　師・富澤 浩樹	情報システムの分析・設計・運用法，情報システム視点からのデジタルアーカイブの構築と運用，まちづくり・観光まちづくりのための地域情報の収集と利活用法，実験社会科学
講　師・西岡 大	情報セキュリティに関する安心感の研究，不快なインタフェースを利用したユーザに気付きを与える研究，主観的なプライバシー情報に関する研究
講　師・南野 謙一	創造的活動における知識の組織的活用手法，創造的な課題解決を支援するグループ発想支援，研究活動支援のための協調的な学習方式，研究成果を生産現場に生かすための農作物早期警戒情報の伝達方式

*印の教員は，2024 年 3 月退職予定です。

博士後期課程

Ⅰ　募集人員及び入学時期

ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士後期

募集区分	募集人員	入学時期
令和５年10月入学	若干名	令和５年10月
第１次募集	10名 （一般・社会人・外国人留学生）	令和６年４月及び令和６年10月 （志願者が出願時に選択）
第２次募集	第１次募集の結果により11月中旬に本学ホームページにおいて発表します。	令和６年４月又は令和６年10月 （志願者が出願時に選択）

Ⅱ　出願資格

１　一　般

次の(1)～(8)のいずれかに該当し、かつ、(9)に該当する者

(1)　修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに取得見込みの者

(2)　外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに取得見込みの者

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに授与される見込みの者

(4)　我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第１条第２項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下、「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

(6)　外国の学校又は第４号の指定を受けた教育施設の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

(7)　文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）

(8)　本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和６年４月１日（令和５年10月入学の場合は、令和５年10月１日、令和６年10月入学の場合は、令和６年10月１日）現在で24歳に達している者

(9)　日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、１つ以上該当する者

①　公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

②　本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.23（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③　英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

２　社会人

次のすべてを満たす者

(1)　志願区分「一般」の出願資格に該当する者で、令和６年３月末日（令和５年10月入学の場合は、令和５年９月末日、令和６年10月入学の場合は、令和６年９月末日）までに、企業、官公庁、教育機関又は研究機関等に２年以上の在職経験（志願区分「一般」の出願資格の(1)から(6)までのいずれかに該当した後のものに限る）を有し、かつ、令和６年４月１日（令和５年10月入学の場合は、令和５年10月１日、令和６年10月入学の場合は、令和６年10月１日）現在で24歳に達している者

(2)　日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、1つ以上該当する者

①　公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

②　本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.23（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③　英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

３　外国人留学生

日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）で、志願区分「一般」の出願資格の(1)から(8)までのいずれかに該当し、かつ、次の各項について、１つ以上該当する者

①　公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して５年前の日以降に合格している者

②　本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（p.23（別表）【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】）

③　英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

（別表）**【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】**

資格名称	基準	認定団体
TOEFL	（iBT）50 点以上	TOEFL®テスト日本事務局 ETSJapan 合同会社
TOEIC	480 点以上	一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会

※　出願期間最終日の前日から起算して**2 年前の日以降**に受験していること。

※　その他の資格については、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

Ⅲ　出願前の事前相談

出願予定者は、入学後の研究計画等について指導を受けようとする教員に、出願前に事前相談を<u>必ず</u>行い、その内容を研究計画書（Ｂ票）に記入するとともに、事前相談の内容に関し、指導希望教員の捺印をもらってください。あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録（FAX の写し、電子メールのハードコピー等）を添付してください。

問い合わせ先

岩手県立大学　教育支援室入試グループ 〒020-0693　岩手県滝沢市字巣子 152-52　TEL 019-694-2014（直通）

Ⅳ　出願資格審査

志願区分「一般」の出願資格(7)又は(8)に該当することにより出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。以下同じ）は、事前に資格審査を行うので、次の書類を郵送（書留速達）により、提出してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士後期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

1　提出書類

志願区分「一般」の出願資格(7)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」、「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。）	志願区分「一般」の出願資格(8)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」の志願区分で出願しようとする者を含む。）
①　出願資格審査申請書（本学所定） ②　A票 履歴書（本学所定） ③　成績証明書（出身学校所定） ④　卒業（修了）証明書（出身学校所定） ⑤　研究成果レポート 研究成果に関する要旨、ワープロ可、様式自由 ⑥　研究成果レポートに関する説明資料 研究論文がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。 ⑦　B票　研究計画書（本学所定） ⑧　C票　業績レポート（本学所定） （志願区分「社会人」で出願する者に限る） ⑨　大学又は研究所等において2年以上研究に従事した証明書 ⑩　大学又は研究所において行った研究の要旨 ⑪　日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑫　本人のあて先記入の角形2号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと）	①　出願資格審査申請書（本学所定） ②　A票 履歴書（本学所定） ③　成績証明書（出身学校所定） ④　卒業（修了）証明書（出身学校所定） ⑤　研究成果レポート 研究成果に関する要旨、ワープロ可、様式自由 ⑥　研究成果レポートに関する説明資料 研究論文がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。 ⑦　B票　研究計画書（本学所定） ⑧　C票　業績レポート（本学所定） （志願区分「社会人」で出願する者に限る） ⑨　日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑩　本人のあて先記入の角形2号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと）

※ 国外への資格審査書類の返送については、「Ⅲ 出願前の事前相談」の照会先へお問い合わせください。

2　提出期間等

⑴　提出期間

令和５年10月入学・第１次募集：

令和５年５月25日(木)から令和５年５月29日(月)まで【午後４時必着】

第２次募集：

令和５年12月６日(水)から令和５年12月８日(金)まで【午後４時必着】

（上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください）

ただし、上記出願期間最終日の午後 4 時を過ぎて到着したものでも、国内郵便に限り、令和５年 10 月入学及び第１次募集の場合は令和５年５月 27 日(土)まで、第２次募集の場合は令和５年 12 月６日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

⑵　出願資格認定結果の通知

出願資格認定結果は、提出書類とともに下記期日に郵送で本人あてに通知します。

令和５年 10 月入学・第１次募集：令和５年６月２日(金)

第２次募集：令和５年 12 月 18 日(月)

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

提出先

岩手県立大学　教育支援室入試グループ
〒020-0693　岩手県滝沢市巣子 152-52　　TEL 019-694-2014（直通）

Ⅴ　出願手続等

１　インターネット出願について

岩手県立大学への出願方法は、インターネット出願です。**出願完了までの流れ、出願登録及び入学検定料の支払いについては、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」を参照してください。**なお、必要書類等の詳細については27,28ページで確認のうえ、不備のないように出願してください。

①　出願書類を準備	インターネット出願の前に準備してください。
②　インターネット出願登録期間 （入学検定料の支払期限） 【入学検定料】　30,000円	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年６月５日（月）～６月22日（木） **第２次募集**： 令和６年１月４日（木）～１月19日（金） ※　検定料は上記期間内にお支払いください。なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 （ア）検定料を支払ったが出願しなかった場合 （イ）検定料を支払ったが出願が受理されなかった場合 （ウ）検定料を二重に支払った場合 上記（ア）～（ウ）のいずれかに該当する場合は、必ず教育支援室入試グループ（電話 019-694-2014）まで連絡してください。なお、返還の際には、領収書（証）等が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。
③　出願期間 （出願書類提出期限）	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年６月19日（月）～６月22日（木）【午後４時必着】 **第２次募集**： 令和６年１月17日（水）～１月19日（金）【午後４時必着】 上記期間を過ぎて到着したものは受理しません。 ただし、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月20日（火）まで、第２次募集においては令和６年１月17日（水）までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。
④　試験日	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年７月８日（土） **第２次募集**： 令和６年２月18日（日）
⑤　合格発表	**令和５年10月入学・第１次募集**： 令和５年７月18日（火）　午後１時（予定） **第２次募集**： 令和６年２月27日（火）　午後１時（予定）
⑥　入学手続期間	**令和５年10月入学**： 令和５年７月25日(火)～令和５年７月28日(金) **第１次募集（令和６年４月入学）**： 令和５年10月２日(月)～令和５年10月10日(火) **第１次募集（令和６年10月入学）**： 令和６年２月19日(月)～令和６年２月28日(水) **第２次募集**： 令和６年２月29日(木)～令和６年３月６日(水)

２　出願期間

令和５年10月入学・第１次募集：

令和５年６月19日(月)から令和５年６月22日(木)まで【午後４時必着】

第２次募集：

令和６年１月17日(水)から令和６年１月19日(金)まで【午後４時必着】

（上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください。）

ただし、上記出願期間最終日の午後４時を過ぎて到着したものでも、国内郵便に限り、**令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月20日(火)まで、第２次募集の場合は令和６年１月17日(水)までの消印があり、**かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

３　出願方法

インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にダウンロードできる書類を印刷し、その他必要書類と併せて提出してください。

４　出願に係る事前準備

インターネット出願を行う前に必ず確認してください。

書　　類	作　成　方　法
出願環境の準備	１　端末の準備 インターネット出願は、以下の環境で行ってください。 ＜パソコン利用時推奨ブラウザ＞ ・　Microsoft Edge　最新版 ・　Google Chrome　最新版 ・　Mozilla Firefox　最新版 ・　Apple Safari　最新版 ＜スマートフォン、タブレット利用時推奨ＯＳ＞ ・　iOS 12　以降 ・　Android 8　以降 ・　iPadOS 13 以降 ※　各OSの標準ブラウザが推奨環境となります。 ※　お使いのブラウザで表示が崩れることがありましたら、他のブラウザにてご確認ください。 ※　印刷機能を必要とします。 ２　メールアドレスの準備 出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメイン【@e-apply.jp】、【@ml.iwate-pu.ac.jp】からのメールを受信できるように設定を追加してください。 出願時に登録したメールアドレスに、以下の４回、メールが送信されます。 ①　インターネット出願入力中のテストメール ②　出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③　入学検定料支払完了時の自動送信メール ④　受験票が取得・印刷可能になった際の通知メール ※　試験が終了するまで、メールアドレスは変更しないでください。
志願者本人写真の用意	インターネット出願にあたって、顔写真データ（ファイル形式「jpeg、jpg、png、bmp」かつ、２MBまで）が必要です。写真は本人確認に利用しますので、カラー写真データ（正面上半身無帽、背景無し、出願前３か月以内に撮影したもの）を用意してください。 【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかるなどで本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、現像された写真を再撮影しているもの等。

その他必要書類の準備	出願区分に応じて必要な書類を、出願期間に間に合うように準備してください。 ※　必要な書類は「7 出願書類」で確認してください。
出願書類送付用封筒	必要書類提出のために、市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。
様式印刷の用意	インターネット出願サイトから出力する様式類は、Ａ４判でカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません。（個人情報の取り扱いには十分注意してください。）

５　出願登録

出願登録は、インターネット出願画面から行ってください。

詳細は、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」を参照してください。

６　入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、本学インターネット出願サイト掲載の「インターネット出願の流れ」のSTEP5「入学検定料の支払い」を参照して支払ってください。

７　出願書類

出　願　書　類	一般	社会人	外国人留学生	摘　　要
志願票	○	○	○	・　インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料（30,000 円）の支払い」完了後にＡ４判印刷用紙にカラー印刷してください。 ・　必要事項をもれなく入力してください。
写真票	○	○	○	・　インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にＡ４判印刷用紙にカラー印刷してください。 ・　鮮明に印刷するため、スーパーファイン用紙、マット紙等の使用を推奨します。
Ａ票　履歴書	○	○	○	・　必要事項を漏れなく記入してください。
成績証明書	○	○	○	・　出願資格に該当する出身大学の学長（大学院研究科長）又は出身学校長が作成し、厳封したもの（外国語で作成されたものは除く）を提出してください。 　なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も提出してください。
Ｂ票　研究計画書	○	○	○	・　必要事項を漏れなく記入してください。 ・　事前相談内容を記入のうえ、指導希望教員の捺印をもらうか、あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録（FAX の写し、電子メールのハードコピー等）を添付してください。
Ｃ票　業績レポート		○		・　必要事項を漏れなく記入してください。
修士課程の修了（見込）証明書	○	○	○	・　出身大学（出身学校）所定のものを提出してください（入学年月日が記載されているもの）。 ・　修了見込証明書においては、３ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
修士の学位授与（見込）証明書	△	△	△	・　学位授与機構が発行する修士の学位授与（見込）証明書を提出してください。 ※ 上記の修了証明書を提出した場合は、不要です。 ・　授与見込証明書においては、３ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
卒業（修了）証明書	△	△	△	・　志願区分「一般」出願資格(7)(8)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。 ・　出身大学（出身学校）所定のものを提出してください（入学年月日が記載されているもの）。 ・　３ヶ月以内に発行されたものを提出してください。

出　願　書　類	一般	社会人	外国人留学生	摘　　要
修士論文等	○	○	○	・　修士論文（コピー可）を提出してください。ただし、修士論文がない場合は、これに代る研究成果を表す論文等を提出してください（研究成果レポート可）。
D票　推薦書		○		・　本学所定の様式により、現職場の所属長等が作成し、厳封したもの（外国語で作成されたものは除く）を提出してください（任意提出）。
研究業績一覧	○	○	○	・　著書、論文、国際会議、研究発表、特許等に分類し、それぞれ査読の有無を明記の上、共著者名も含め、Ａ４用紙に記入して提出してください。（様式任意）
主要論文別刷	○	○	○	・　上記「研究業績一覧」に対応する番号を付与した主要論文別刷（またはコピー、特許等の文献も含む）3編以内を提出してください。
住民票の写し 又は 住民票記載事項証明書	△	△	○	・　外国籍を有するものは、市区町村長の発行する住民票の写し又は住民票記載事項証明書（在留資格の記載があるもの）を提出してください。なお、市区町村発行の住民票の写し又は住民票記載事項証明書が提出できない場合には、それに代わるもの（パスポートの氏名・生年月日が記載された箇所・査証等の写し）を提出してください。
・日本語能力試験レベルN2以上の認定結果及び成績に関する証明書 ・本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書 ・パスポートの写し	△	△	△	・　日本国籍及び日本における永住資格を有しない者はいずれかを提出してください。（詳細は出願資格「3 外国人留学生」を参照のこと。） ・　英語検定試験の成績に関する証明書を提出する場合はTOEFLのスコアレポート(Examinee Score Report)又は、TOEICのスコアレポート（Official Score Certificate）本紙を提出してください。なお、スコアレポートは後日返却するので、郵送用に344円の切手を同封してください。
大学又は研究所等において2年以上研究に従事した証明書	△	△	△	・　志願区分「一般」出願資格(7)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。
大学又は研究所等において2年以上行った研究の要旨	△	△	△	・　志願区分「一般」出願資格(7)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。
出願書類提出用角形２号封筒	○	○	○	・　市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、「出願書類提出用宛名シート」を貼付して郵送、提出してください。
出願書類提出用宛名シート	○	○	○	・　インターネット出願サイトから「出願登録」及び「入学検定料の支払い」完了後にＡ４判印刷用紙にカラー印刷してください。（志願票を印刷すると、同時に印刷されます。）「出願書類提出用宛名シート」は、角形２号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。

※　作成にあたって、本学所定の様式の変更は認められません。
※　△については、該当する者が提出してください。
※　外国語（英語以外）で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。翻訳は本人でもかまいませんが、翻訳者が署名のうえ、その連絡先（電話番号）を記入してください。

●　上記書類を、「出願書類提出用宛名シート」を張り付けた「出願書類提出用角形２号封筒」に入れ、提出してください。

８　出願書類の提出方法

⑴　郵送する場合

「書留速達による郵送」としてください。

※　インターネット出願完了後、出力される「出願書類用宛名シート」をご利用ください。

⑵　持参する場合

出願期間中の**午前９時から午前11時45分まで、及び午後１時から午後４時まで**

出願書類等提出先

岩手県立大学　教育支援室入試グループ
〒020-0693　岩手県滝沢市巣子152-52　　TEL 019-694-2014（直通）

９　受験票の印刷

受験票は、出願期間後にインターネット出願サイトから印刷できるようになります。出願時に登録したメールアドレスに、受験票の印刷ができるようになったことをお知らせしますが、プロバイダによりメールが届かない場合でも、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月29日（木）午後１時以降（予定）、第２次募集の場合は令和６年２月１日（木）午後１時以降（予定）に、インターネット出願サイトにログインして印刷し、余白部分を切り取ったうえで、試験当日に持参してください。

○　インターネット出願では、入学検定料支払時、必要書類印刷時、受験票印刷時等に、インターネット出願サイトへのログインが必要になります。インターネット出願サイトからマイページログイン画面にアクセスして、「メールアドレス」及び「パスワード」を入力してください。

○　インターネット出願の利用が難しい場合、令和５年10月入学及び第１次募集の場合は令和５年６月19日（月）、第２次募集の場合は令和６年１月17日（水）までに、教育支援室入試グループ（TEL 019-694-2014）に相談してください。

10　出願上の注意事項

・　**「インターネット出願」は、インターネット出願サイトからの登録だけでは出願手続き完了にはなりません。**入学検定料を支払期間内に支払い、出願に必要な書類が出願期間内に本学へ到着する必要があります。

・　出願書類に不備がある場合は受理しません。

・　出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクで正しく明確に記入してください。

・　出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、岩手県立大学教育支援室入試グループ（電話019-694-2014）まで連絡してください。

・　推薦での出願であっても、特に必要と判断された場合には、志願区分を一般に変更することがあります。

・　一度受理した出願書類は返還しません。

・　出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。

・　出願資格を入学時までに満たせなかった者は、入学手続き後であっても入学の許可を取り消します。

・　本学に入学を志願する方で、障がい等による受験上及び修学上の特別な配慮を希望する場合は、出願の前に、下記期日までに申し出てください。

令和５年10月入学・第１次募集：令和５年５月22日(月)まで
第２次募集：令和５年12月15日(金)まで

Ⅵ　選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。
面接は、研究成果の発表を含みます。

Ⅶ　選抜日時・試験場等

１　選抜日時

令和５年 10 月入学・第１次募集（特別推薦を除く）:
　令和５年７月８日（土）
第２次募集：
　令和６年２月18日（日）

※ 各受験者の面接日程（日時・入室時間・面接開始時刻等）の詳細については、別途通知します。

２　試験場

岩手県立大学
案内図（40 ページ）を参照してください。

３　受験上の注意事項

・　「受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
・　当日に受験票を忘れた者は、速やかに係員に申し出てください。また、受験票は、個人成績提供の請求の際に必要となるので、試験後も大切に保管してください。
・　面接の際は、指定された時刻までに受付を済ませ、待機してください。なお、指定された面接開始時刻に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
・　面接を受けなかった者は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とし、入学者選抜の対象から除きます。
・　携帯電話、スマートフォンや音の出る機器の時報・アラーム音・発信音は試験室に入る前に必ず設定を解除し電源を切ってかばん等にしまってください。アラームは、設定を解除しないと電源を切っても鳴ることがありますので十分注意してください。なお、試験時間中にかばんの中でこれらの機器の着信音や振動音などが発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
・　試験場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
・　昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
・　試験場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じても責任を負えないので注意してください。
・　試験実施日の前日の午後に限り、岩手県立大学構内の下見はできますが、建物内への出入りはできません。
・　その他必要が生じた場合には、別途連絡します。

Ⅷ　教育研究領域（異動等により変わる場合もありますので，事前にご確認ください）

研究キーワード（◎主となるキーワード，○副となるキーワード）

データ・数理科学コース

教員	ウェブ情報学・サービス情報学	オペレーションズリサーチ	オペレーティングシステム	機械学習	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	経営工学	経営情報	人間情報工学	最適化	自然言語処理	社会資本リスクマネジメント	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	情報理論	数理情報	数理統計	シミュレーション工学	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	ソフトウェア工学	並列・分散処理	モバイルネットワーク	リスク分析
教授　猪股 俊光							○											◎				◎	◎			
教授　王 家宏														◎							○			◎	○	
教授　高田 豊雄																◎	◎	○								
教授　竹野 健夫		○						◎	○						○				○							
准教授　大堀 勝正													○						◎							◎
准教授　岡本 東		○						○			◎				○											
准教授　鈴木 郁美				◎								◎		○					○							
准教授　児玉英一郎	○																	◎			○			○		
准教授　田村 篤史					◎	○												○	○							
准教授　山邉 茂之										◎									○	○						
講師　Stephanie Nix				○																◎				○		
講師　山田 敬三											◎				○			◎				○	○			
助教　片町 健太郎			○														○	◎				◎				

コンピュータ工学コース

教員	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	オーバレイネットワーク	オペレーティングシステム	音声情報	画像情報処理	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	ネットワークプロトコル	ヒューマンコンピュータインタラクション	並列・分散処理	モバイルネットワーク
教授　蔡 大維		○										◎																○			
教授　佐藤 裕幸**					○		○					○		○												○				◎	
教授　橋本 浩二				○											◎													○		○	
教授　Bhed Bahadur Bista																					◎							◎			◎
教授　馬淵 浩司							○											○							◎						
准教授　新井 義和												◎														○					
准教授　今井 信太郎												○			○							◎						○			
准教授　齊藤 義仰	◎														◎														○		○
准教授　鈴木 彰真						○	○	○	○			○	○									○		○		○					
准教授　成田 匡輝				○																○	◎	○									
講師　伊藤 久祥										○	○					○	○												◎		
講師　佐藤 永欣			○	○											○				◎			◎					○	○			
講師　杉野 栄二**					◎							○											○							○	

**印の教員は，2025 年 3 月退職予定です。

人工知能コース

教 員	医療福祉情報	ウェブ情報学・サービス情報学	音声情報	画像情報処理	感性データベース	機械学習	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータビジョン	最適化	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	パターン認識	ヒューマンコンピュータインタラクション	認知脳科学	脳型情報処理
教授　伊藤 慶明			◎							○		○						○			
教授　亀田 昌志	○			◎					○		○			○							
教授　Prima Oky Dicky Ardiansyah				◎					○		◎			○			○		○		
教授　間所 洋和						◎	○		○					○				○			
准教授　樽松 理樹			○			○						◎			○			○			
准教授　小嶋 和徳				◎		○		○		○								○			
准教授　眞田 尚久				○										○						◎	◎
准教授　戴 瑩					◎	○	○		◎	○	○							◎			
准教授　David Ramamonjisoa		○		○								○						○			
准教授　羽倉 淳														○		◎			○		
准教授　松原 雅文						○						◎	○								

社会システムデザインコース

教 員	eラーニング	医療福祉情報	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	機械学習	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	経営工学	経営情報	コンピュータグラフィックス	自然言語処理	社会システム	情報システム	情報セキュリティ	情報デザイン	スキルサイエンス	センサーネットワーク	地域情報化	知識ベースシステム	地理情報システム	ヒューマンコンピュータインタラクション	リスク分析
教授　阿部 昭博						○									◎					◎		○		
教授　小方 孝*													○	○							◎			
教授　布川 博士*				○		○																		
教授　堀川 三好			○	○	◎					○	○			○					◎	○				
准教授　市川 尚	○							◎	○						○									
准教授　植竹 俊文										◎	○				◎					◎				
准教授　西崎 実穂																	◎						○	
准教授　松田 浩一		○						○				○						◎					◎	
講師　小倉 加奈代																○	○	○					◎	
講師　佐藤 究								○	○														◎	
講師　富澤 浩樹						○									◎					○				
講師　西岡 大																○							○	
講師　南野 謙一								○		○					◎							○		○

*印の教員は，2024 年 3 月退職予定です。

研究テーマ

データ・数理科学コース

教　員	研究テーマ
教　授・猪股 俊光	数理的手法によるプログラムの静的解析法，ソースコードの影響波及解析，初心者のためのプログラミング学習法
教　授・王 家宏	インフラに依存しないクラウドサービス構築技術，RAID 技術を用いたオンラインストレージシステム，災害地におけるアドホックネットワーク用ルーテイングアルゴリズム，プライバシーを保護した分散データマイニング
教　授・高田 豊雄	機械学習を応用したセキュリティ対策，ネットワークセキュリティ全般，個人認証方式，モバイル機器のセキュリティ，マルウェア対策，通信路符号化，HCI の知見を採り入れたセキュリティシステム・ツールのセキュリティ改善
教　授・竹野 健夫	数理計画問題，最適化，スケジューリング，確率モデル，在庫管理，意思決定支援に関するモデリングと解法の提案．また，それらを組み込んだ情報システムの構築．
准教授・大堀 勝正	数理統計，数理モデル，リスク分析，社会資本（道路，鉄道等）におけるリスクマネジメントおよび経営資源配分
准教授・岡本 東	組合せ最適化，生産・物流スケジューリング（ルーティング），生産工程における測位技術の応用，ソフトウェアの部品化再利用，地域の公共機関・団体のための情報システム
准教授・児玉 英一郎	Web リソースの効率的な発掘と利活用，Linked Data のメンテナンスや利活用，分散環境における情報セキュリティ，オノマトペの収集と分類及び利活用，情報処理における代数的整数論の利活用
准教授・鈴木 郁美	自然言語処理，機械学習を用いたデータ解析，自然言語生成モデルの構築・かな漢字変換・文法評価方法の確立．高次元データ解析，近傍法・単語分散表現・教師あり学習・半教師あり学習
准教授・田村 篤史	探究的な学習に対応した非ユークリッド幾何教材の開発。Julia を用いた大学幾何教材の開発．数学的能力・才能に関する基礎研究および数学才能教育に関する理論的研究．
准教授・山邉 茂之	人間機械共生支援システム
講　師・Stephanie Nix	生体を対象とした物理シミュレーション，農業現場を対象としたデジタルツイン，細胞の数値流体力学
講　師・山田 敬三	遺伝的アルゴリズムを用いた特性発見，遺伝的アルゴリズムを用いた組み合わせ最適化，マルチエージェントシステムを用いた推薦，項目反応理論の推薦への活用，階層分析法を用いた推薦
助　教・片町 健太郎	携帯端末を活用した出席確認システム及び安否確認システム，対称群の互換列についての数え上げ及び列挙

コンピュータ工学コース

教　員	研究テーマ
教　授・蔡 大維	イヤホン型ウェアラブルビジターガイド端末と総合管理システムの実用化，世界的に注目されているウェアラブル技術とワイヤレス充電技術を融合させ，自動観光案内のウェアラブル端末及び高度な総合充電管理装置の開発を行う．
教　授・佐藤 裕幸**	高性能プロセッサの組込み系での活用技術，無人搬送車の自律走行に向けた組込み系リアルタイム画像処理，大規模システムでの高性能プロセッサ活用技術（画像処理，データベース処理，センサ信号処理等）
教　授・橋本 浩二	遠隔操作可能なライブ中継用バックエンドシステム，映像通信のための動的構成可能なソフトウェアコンポーネント，多元中継を想定した分散型映像処理機能
教　授・Bhed Bahadur Bista	次世代情報ネットワークのネットワークプロトコル，モバイルネットワークなどとエネルギー効率的な情報ネットワーク
教　授・馬淵 浩司	ドローンを利用したスマート農業および消火・洗浄，宣言型計算モデルに基づく問題解決，宣言型計算モデルに基づく自然言語理解，既存楽曲の特徴を利用した自動楽曲生成
准教授・新井 義和	局所的通信デバイスの開発，複数ロボットの協調，ロボット間の衝突回避，ロボットの行動認識，ロボットナビゲーション，自動車運転支援システム，車々間／路車間通信デバイスの開発，センサネットワークの構築
准教授・今井 信太郎	柔軟なノード間連携により大量のデータ処理を実現するセンサシステム基盤技術，小規模農家支援のためのセンサシステム，大規模災害時の円滑な通信を実現する不揮発性ネットワーキング技術
准教授・齊藤 義仰	インタラクティブなインターネット放送システムと応用研究，人間的な側面からの安全運転支援，効果的なインターネット広告表示，地域課題への ICT 応用
准教授・鈴木 彰真	オノマトペを用いた食品の感性検索，地域特有料理及び提供店舗の検索システム，振動／圧力による車の接近告知システム，SS 超音波を用いた測位システムの研究，SS 超音波を用いたロボットモニタリングシステム
准教授・成田 匡輝	サイバー攻撃の監視，ダークネット監視システム，スマートフォンのセキュリティ，個人認証方式，SNS 利用者の個人情報保護，侵入検知システム，パスワード管理
講　師・伊藤 久祥	つながり感通信に適した映像の解像度の評価，学習者の視線による授業評価指標の開発，QR コードを利用した大規模授業における提出物の管理手法，音声認識を用いた簡易的な視野欠損検査手法の開発
講　師・佐藤 永欣	各種センサを利用したスポーツ指導支援，GNSS による走行軌跡を用いた地図自動更新，P2P 防犯カメラネットワーク，分散検索システム
講　師・杉野 栄二**	オペレーティングシステム，組込 OS，並列分散 OS，OS 記述のためのプログラミング言語

**印の教員は，2025 年 3 月退職予定です。

人工知能コース

教　員	研究テーマ
教　授・伊藤 慶明	ビデオ中で検索語が話されている区間を特定する技術の研究，音声認識技術の研究，運転中のドライバーとの雑談対話システムの研究
教　授・亀田 昌志	基底関数に基づいた画像の高能率符号化，医用画像を対象とした超解像処理，3D カメラ映像における物体認識，看護支援を目的とした病変の客観的評価
教　授・Prima Oky Dicky Ardiansyah	赤外線・可視光線による視線計測システム，行動（顔表情，発話，頷き，顔向け，瞬き）自動観察システム（behavior coding），生体情報センシングシステム，肢体不自由者のための意思伝達装置などの開発
教　授・間所 洋和	機械学習と視覚情報処理の研究，ヒューマンセンシングに関する研究，スマート農業に向けた農工連携研究，低炭素社会のための地域貢献型研究
准教授・槫松 理樹	テキストマイニングを用いた三つのポリシー（アドミッション・ポリシー，カリキュラム・ポリシー，ディプロマ・ポリシー）に関する研究，MT 法と機械学習を融合した故障予知・異常検出に関する研究，MT 法を用いた不均衡データ処理手法に関する研究，画像と声質変更を用いた音声再現手法に関する研究
准教授・小嶋 和徳	進化計算の大規模並列化に関する研究，進化計算を用いた画像中の物体検出に関する研究，野鳥の品種識別に関する研究，情景画像からの情報抽出に関する研究
准教授・眞田 尚久	視知覚の脳情報処理メカニズムの研究，生体情報計測による多感覚情報の統合メカニズムに関する研究，深層畳み込みニューラルネットワーク（DCNN）の中間層における情報表現，視覚運動情報による質感の脳内表現と画像処理への応用
准教授・戴 瑩	人間の感性を考慮する画像・映像などの検索や編集などに関する研究，big sensor data を用いた状況推定に関する研究，顔の検出と認識や表情から感情の認識などに関する研究
准教授・David Ramamonjisoa	金融情報から投資意思決定支援システムの研究，トピックモデルを用いてニュース記事のコメントや論文などの話題と傾向分析，機械学習によるデータ解析に関する研究
准教授・羽倉 淳	自律ロボットのための知覚メカニズム，交通事故防止のためのパーソナライズド・セーフティ・システム，多次元時系列データからの特徴抽出に関する研究，行動観察に基づく心理状態認識メカニズム
准教授・松原 雅文	携帯端末向け Web 検索，文字入力，予測入力，アイズフリー入力，画像情報を利用した日本語入力，押下圧を利用した日本語入力，ニューラルネットワークを利用した日本語入力，Twitter ユーザの推薦，楽曲推薦

社会システムデザインコース

教　員	研究テーマ
教　授・阿部 昭博	地域情報システム（観光，まちづくり，歴史文化，生活等）の実践的研究，情報システム分析・設計法（サービスデザイン，参加型アプローチ等），観光情報学，社会的課題への GIS 適用
教　授・小方 孝*	物語生成システム，自動生成コンテンツ，コンピュータゲーム応用，自然言語生成，概念・自然言語辞書，ウェブからの知識獲得，人文科学・認知科学・人工知能学際アプローチ，コンテンツとメディアの社会的流通調査とシステム構築
教　授・布川 博士*	社会に具体的に存在する課題を，その分野の中で見出し，現状を調査し，情報技術(IT)により問題を解決する方法を研究します．既存の IT で解決できなければ，そのための IT の開発も行います．IT を方法としても目的としても，つまりメディアとして研究開発します．
教　授・堀川 三好	Cyber Physical System，工場の可視化，屋内測位，Web パーソナライズ，地域の可視化，人間の動作・状態推定
准教授・市川 尚	インストラクショナルデザインに基づく教授／学習支援システム，看護教育における e ラーニング，観光情報システム
准教授・植竹 俊文	企業・社会に内在する情報資源（知識，技術，ノウハウ等）を見える化，情報資源を活用し業務を改善できるシステム提案，経営工学・情報工学などの手法・理論を用いて情報システム構築・評価
准教授・西崎 実穂	生態学的アプローチに基づく知覚と行為，デザイン（グラフィックデザイン，アクセシブルデザイン，データベース，AR アプリケーション）
准教授・松田 浩一	センサ技術を応用した郷土芸能伝承支援のための技能の分析・可視化，センサ技術を応用したリハビリ効果の分析・可視化，3 次元モデルのモデリングインタフェース
講　師・小倉 加奈代	次世代コミュニケーションメディアの開発，コミュニケーション支援システム，日常生活をより便利に快適にするための支援技術，人間の心理・行動特性に着目したフィッシング犯罪防止対策および認証システム，批判的思考力育成と情報セキュリティ教育
講　師・佐藤 究	分散協調作曲システムの分析と設計，特別支援教育のための書字学習支援システム，遠隔地デザイン作業支援システム，実物体指向仮想化学実験システム，感性的インタラクションを可能とする実世界指向デバイス，演習課題レポート管理システム
講　師・富澤 浩樹	情報システムの分析・設計・運用法，情報システム視点からのデジタルアーカイブの構築と運用，まちづくり・観光まちづくりのための地域情報の収集と利活用法，実験社会科学
講　師・西岡 大	情報セキュリティに関する安心感の研究，不快なインタフェースを利用したユーザに気付きを与える研究，主観的なプライバシー情報に関する研究
講　師・南野 謙一	創造的活動における知識の組織的活用手法，創造的な課題解決を支援するグループ発想支援，研究活動支援のための協調的な学習方式，研究成果を生産現場に生かすための農作物早期警戒情報の伝達方式

*印の教員は，2024 年 3 月退職予定です。

博士前期課程・博士後期課程
共通事項

○博士前期課程・博士後期課程共通事項

Ⅰ　合格発表

令和５年 10 月入学・第１次募集：
　令和５年７月 18 日（火）　午後１時（予定）
第２次募集：
　令和６年２月 27 日（火）　午後１時（予定）

合格者に合格通知書を送付します。また、本学のホームページ（https://www.iwate-pu.ac.jp/）で合格者受験番号を発表します。電報、電話、郵便、電子メールによる問い合わせには応じません。

Ⅱ　入学手続等

１　入学手続

(1)　入学手続期間

令和５年10月入学	：	令和５年７月25日(火)～７月28日(金)　午後４時必着
第１次募集（令和６年４月入学）	：	令和５年10月２日(月)～10月10日(火)　午後４時必着
第１次募集（令和６年10月入学）	：	令和６年２月19日(月)～２月28日(水)　午後４時必着
第２次募集	：	令和６年２月29日(木)～３月６日(水)　午後４時必着

(2)　入学手続方法

入学手続は、合格通知書に同封する入学手続書類、所定の封筒を用い、**「書留速達による郵送」**によってください。

直接持参は、下記の日程で提出する場合に限り認めます。

令和５年10月入学	：	令和５年７月26日(水)～７月28日(金)の３日間
第１次募集（令和６年４月入学）	：	令和５年10月５日(木)，６日(金)，10日(火)の３日間
第１次募集（令和６年10月入学）	：	令和６年２月26日(月)～２月28日(水)の３日間
第２次募集	：	令和６年３月４日(月)～３月６日(水)の３日間

【受付時間】　午前９時～午前11時45分、午後１時～４時

２　初年度納付金（令和５年４月１日現在）

(1)　**入学料**

入学手続の際は、下記の金額の入学料を納付する必要があります。

ア　岩手県内の住民　　225,600 円
イ　その他の住民　　338,400 円

「岩手県内の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の1年前（令和６年４月入学の者については令和５年４月１日、令和６年10月入学の者については令和５年10月１日）から引き続き県内に住所を有する者をいい、「その他の住民」とは、それ以外の者をいいます。

(2)　授業料

ア　金額　　年額 535,800 円
　　ただし、授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
イ　納付方法　　入学後に原則として前期（納付期限５月末日）、後期（同 10 月末日）の２回に分けて徴収します。

(3)　その他の納付金

ア　学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険
　入学時に加入の手続をする必要があります。
　①　博士前期課程　　保険期間　２年　保険料　　2,080 円
　②　博士後期課程　　保険期間　３年　保険料　　3,120 円
イ　その他の納付金については、合格通知の際にお知らせします。

３　その他

(1)　入学料の免除

①　本学大学院に入学の時点で、次のいずれかに該当する者に係る入学料は免除します。

ア　本学の学部に３年以上在学又は卒業した者

イ　本学の盛岡短期大学部又は宮古短期大学部を卒業した者

ウ　本学の研究科を修了した者で、あらためて研究科に入学する者

エ　その他理事長が特に適当と認める者

②　平成 23 年東北地方太平洋沖地震及び津波による被害に伴う授業料等免除

東日本大震災により甚大な被害を受けた学生を経済的に支援するための入学料免除制度があります。

(2)　授業料等の免除、分割納付、納期変更

家庭の経済事情又は不測の災害などのため、授業料等の納付が著しく困難な学生に対する授業料の免除、分割納付、納期変更制度があります。

(3)　奨学金（令和５年４月現在）

ア　日本学生支援機構奨学金

種　　類	出　願　資　格	貸 与 月 額	貸与期間
第一種奨学金 （無利息）	人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者であること。	［博士前期課程］ 50,000 円、88,000 円の中から希望する額を選択 ［博士後期課程］ 80,000 円、122,000 円の中から希望する額を選択	貸与開始の年月から卒業予定の最短年月までの期間
第二種奨学金 （利息付）	人物･学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学困難な者であること。	5 万円､8 万円､10 万円､13 万円､15 万円の中から希望する額を選択	

※　第二種奨学金については、令和6年 10 月入学者は、令和6年 3 月まで申請することができませんのでご注意ください。

イ　岩手県立大学学業奨励金

対　　象　　者	月　額	期　間
大学院入学生で、将来、教育・研究者、高度の専門性を有する職業人として活動する能力があると認められる者	50,000 円 （貸与）	［博士前期課程］ 2 年間（貸与） ［博士後期課程］ 3 年間（貸与）

ウ　岩手県立大学外国人留学生奨学金

対　　象　　者	月　額	期　間
岩手県立大学に正規生として在学する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、かつ経済的援助が必要であると認められる者	80,000 円 （給付）	1 年間（給付）

エ　この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります.

(4)　早期履修制度

本学ソフトウェア情報学部４年に在籍する者で同研究科へ進学を希望する者を対象として、大学院開講科目を早期に履修できる制度があります。

(5)　短期修了

優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮できる制度があります。

(6)　長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程 2 年、博士後期課程 3 年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができる制度があります。

この制度を利用する場合、授業料は標準修業年限分の授業料に相当する額を長期履修期間に応じて分割納付することになります。

(7)　アパート等

アパート等については、大学での紹介・斡旋はしておりません。岩手県立大学生活協同組合（電話 019-688-9571）へ直接お問合せください。また、取り扱っている物件については、ホームページ（https://www.ipu.u-coop.or.jp/）で閲覧することができます。

4　入学辞退

志願区分「特別推薦」「推薦」の合格者が入学を辞退することは基本的に認められませんが、特別の事情により入学辞退を希望する場合は、入学手続き期間の最終日までに岩手県立大学教育支援室入試グループ（電話 019-694-2014）までお申し出ください。

また、志願区分「一般」「社会人」「外国人留学生」の合格者で入学を辞退する者は、以下の期限までに岩手県立大学教育支援室入試グループ（電話 019-694-2014）までお申し出ください。

令和５年10月入学：令和５年９月29日（金）正午まで

令和６年４月入学：令和６年３月29日（金）正午まで

令和６年10月入学：令和６年９月30日（月）正午まで

なお、入学手続時に納付した入学料及び提出書類は、原則返還しません。

Ⅲ　個人成績提供の請求について

希望者に次のとおり提供します。

1　提供内容

総合点（筆記試験、面接、出願書類等の合計得点）

2　請求の受付期間・受付時間

令和５年 10 月入学・第１次募集

令和５年７月 18 日(火)午後１時から令和５年８月 17 日(木)まで(土・日・祝日を除く)

第２次募集

令和６年２月 27 日(火)午後１時から令和５年３月 28 日(木)まで(土・日・祝日を除く)

※　口頭による請求：午前９時から 11 時 45 分及び午後１時から４時まで

※　郵便による請求：上記受付期間の消印有効

※　この期間を超えた場合、口頭及び郵送による請求の受付は、一切いたしません。

3　請求の受付場所

岩手県立大学　教育支援室入試グループ

（郵送による請求の場合の送付先
〒020-0693
岩手県滝沢市巣子 152-52
岩手県立大学　教育支援室入試グループ）

４　請求方法

(1)　口頭による請求

ア　請求ができる者は、本人に限ります。

イ　電話による請求は、できません。

ウ　本人であることの確認書類として、本学の受験票の提示が必要です。

(2)　郵送による請求

次の書類を前項３の送付先に簡易書留郵便で送付してください。

ア　個人成績の提供請求書（本人を請求者とし、必ず本人が記入してください。）
※請求書の様式は、41 ページにあります。

イ　受験票

ウ　返信用封筒（長形３号：住所・氏名・郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼ったもの。必ず本人を名あて人としてください）

５　提供方法

(1)　口頭による請求の場合

受付場所において、口頭により提供します。

(2)　郵送による請求の場合

個人成績の提供請求書に同封された返信用封筒により、提供内容を記載した通知書を簡易書留郵便により送付します。

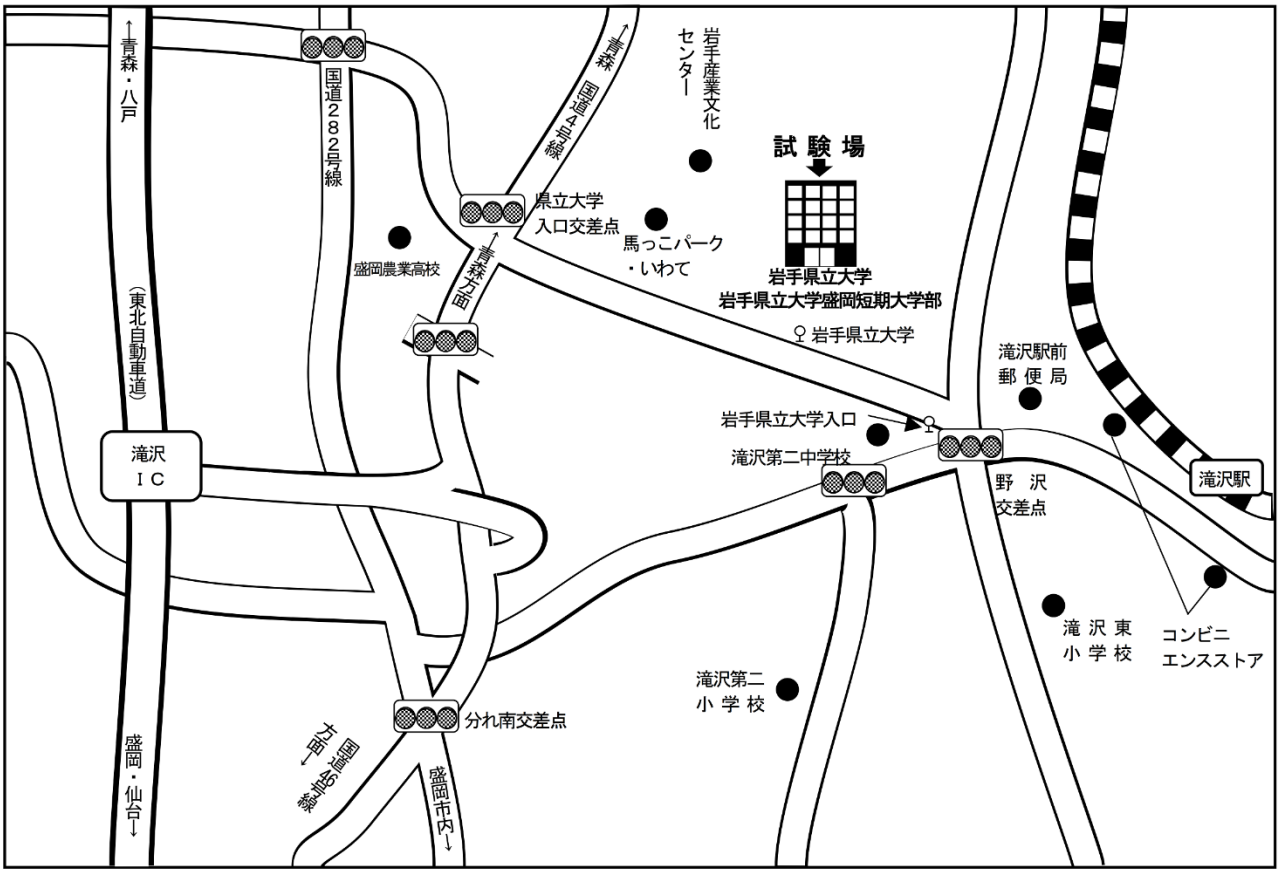
６　その他

公立大学法人岩手県立大学個人情報の保護等に関する規程（令和５年規程第 43 号）第 23 条第 1 項の規定による開示請求については、別に手続が定められていますので、岩手県立大学教育支援室入試グループに相談してください。

Ⅳ　個人情報の取り扱い

出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

Ⅴ　試験場案内



※　滝沢ＩＣをご利用の方は、青森方面にお進みください。

岩手県立大学までの交通

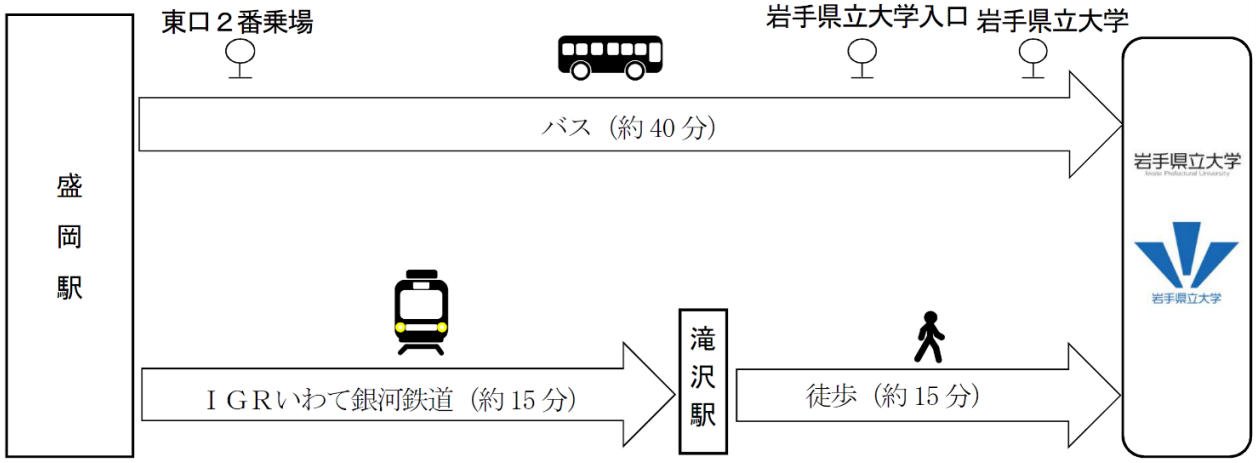
鉄道利用：盛岡駅からＩＧＲいわて銀河鉄道　滝沢駅（約 15 分）、滝沢駅から徒歩約 15 分

バス利用：盛岡駅東口２番乗場から「県立大学行」バス（岩手県交通、約 40 分）

「岩手県立大学」下車（運行状況を確認のうえ利用してください。）

※「岩手県立大学入口」の次のバス停が「岩手県立大学」です。

岩手県立大学までの交通手段



盛岡駅までの所要時間（ＪＲ新幹線）

新函館北斗駅から約２時間、仙台駅から約 40 分、福島駅から約１時間 40 分、秋田駅から約１時間 30 分、新青森駅から約１時間、山形駅から約１時間 45 分、東京駅から約２時間 15 分

年　月　日

岩手県立大学長　殿

請 求 者 氏 名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

住　　所　〒　　ー

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先（電話番号）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

個人成績の提供請求書

令和５・６年度入試について下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試験区分	
受験番号	
受験者氏名	

（注）「請求者氏名」は、**受験者本人が必ず自署**してください。

＜添付書類＞

① 受験票

② 返信用封筒（長形３号：本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼ったもの。）

---------- 以 下 大 学 記 入 欄 ----------

受付年月日　　年　　月　　日	発送年月日　　年　　月　　日
担当者確認欄	

（記　入　例）

○年 ○月 ○日

岩手県立大学長　殿

請求者氏名　夢野　翼

住　　所　〒 020 － 0693

岩手県滝沢市巣子 152 番地

大学アパート１号

連絡先（電話番号）019-694-2014

個人成績の提供請求書

令和５・６年度入試について下記のとおり個人成績の提供を請求します。

記

試験区分	令和６年度岩手県立大学大学院ｿﾌﾄｳｪｱ情報学研究科博士前期課程
受験番号	01234
受験者氏名	夢野　翼

（注）「請求者氏名」は、**受験者本人が必ず自署**してください。

＜添付書類＞

① 受験票

② 返信用封筒（長形３号：本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼ったもの。）

―――――――――――――――― 以下大学記入欄 ――――――――――――――――

受付年月日　　年　　月　　日	発送年月日　　年　　月　　日
担当者確認欄	

―出願書類―

○博士前期課程

Ａ票　　履歴書
Ｂ票　　研究計画書
Ｄ票　　実績一覧
Ｅ票　　業績レポートＡ
Ｆ票　　業績レポートＢ
Ｇ票　　推薦書（社会人用）
Ｈ票　　推薦書

○博士後期課程

Ａ票　　履歴書
Ｂ票　　研究計画書
Ｃ票　　業績レポート
Ｄ票　　推薦書

岩手県立大学
Iwate Prefectural University

〒020-0693　岩手県滝沢市巣子 152-52
TEL 019-694-2014（直通） FAX 019-694-2035
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱﾄﾞﾚｽ https://www.iwate-pu.ac.jp/